

# 高校入試過去問( 愛知 ) (R3)年数学

(100点満点(45)分)

1.

---

(1)  $\frac{7}{3^2} - \left(-\frac{1}{2}\right) \div \left(1 - \frac{5}{2}\right)^2$  を計算しなさい。

(2)  $(\sqrt{6} + \sqrt{2})\left(\frac{1}{\sqrt{6}} - \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$  を計算しなさい。

(3) 1 から 9 までの自然数のうち異なる 2 つを選び、小さい方を  $a$ 、大きい方を  $b$  とする。このとき、 $\frac{1}{a} - \frac{1}{b}$  の値が最も小さくなるときの値を求めなさい。

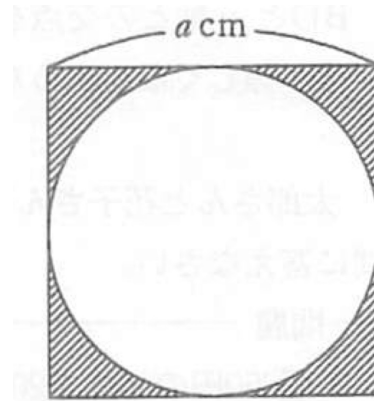
(4) 関数  $y=ax^2$  で、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域は  $-2 \leq y \leq 0$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

(5)  $m+n=90$ ,  $mn=2021$  を満たす自然数  $m$ ,  $n$  ( $m < n$ ) を求めなさい。

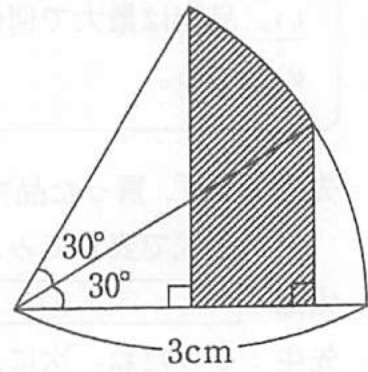
(6) 5 の数字が入った自然数を次のように小さいものから順に並べていく。  
5, 15, 25, 35, 45, 50, 51, 52, ...  
このとき、555 は最初から数えて何番目の数字となるか答えなさい。

- (7) 3直線  $y = -2x - 3$ ,  $y = \frac{1}{2}x + 2$ ,  $y = ax$  が三角形を作らないような定数  $a$  の値をすべて求めなさい。

- (8) 右図のように、円が1辺の長さが  $a$  cmの正方形の4辺と接している。斜線部分の面積が  $b$  cm<sup>2</sup> であるとき、この正方形の面積を  $b$  を用いて表しなさい。



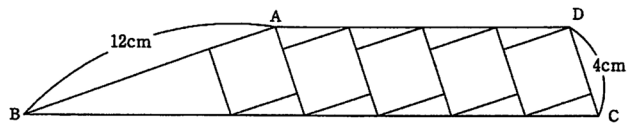
(9) 右図のようなおうぎ形がある。斜線部分の面積を求めなさい。



(10) 下図のように、A～Jの10人が10点満点のゲームを行い、点数表を作ったが汚れてしまい、G、Hの点数がわからなくなってしまった。点数は自然数であり、Hの点数がGの点数より低いことはわかっている。このとき、点数の中央値を求めなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	平均値	範囲
点数	9	5	9	6	3	9			4	2	6.0	8

- ①) 下図のように、同じ大きさの正方形を5個並べ、両端の正方形の一辺を延長した直線と各正方形の頂点を通る直線を結んで台形ABCDを作ったところ、辺ABの長さが12cm、辺CDの長さが4cmとなった。

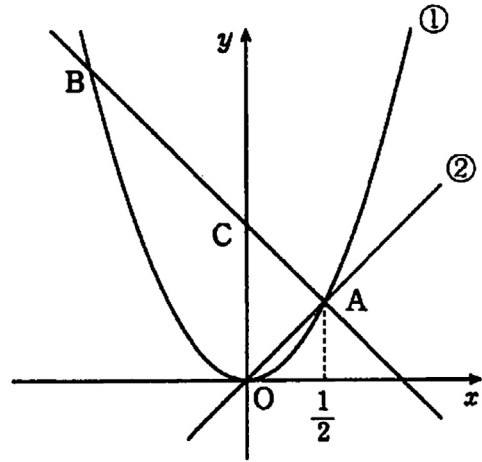


このとき、正方形の面積が   $\text{cm}^2$  であるから、この台形ABCDの面積は正方形1個の面積の  倍である。空欄①と②にあてはまる数値を答えなさい。

2.

右図のように、放物線  $y = ax^2 \cdots \textcircled{1}$  と直線  $y = bx \cdots \textcircled{2}$  が原点  $O$  と点  $A$  で交わり、点  $A$  の  $x$  座標は  $\frac{1}{2}$  である。放物線  $\textcircled{1}$  上に点  $A$  以外の点  $B$  をとり、直線  $AB$  と  $y$  軸との交点を  $C$  とする。点  $C$  の  $y$  座標が  $1$ 、 $\angle AOC = 45^\circ$  であるとき、次の各問に答えなさい。

- (1)  $a$ ,  $b$  の値をそれぞれ求めなさい。
- (2) 点  $B$  の座標を求めなさい。
- (3) 線分  $OA$  上に点  $O$ ,  $A$  とは異なる点  $D$  をとり、直線  $BD$  と  $y$  軸との交点を  $E$  とする。 $\triangle BCE$  と  $\triangle ODE$  の面積が等しくなるような点  $D$  の座標を求めなさい。



太郎さんと花子さんは、下の問題について先生と会話をしています。下の会話文を読み、後の各問に答えなさい。

問題

1個650円の品物を2000円の箱に入れて買うとき、合計の代金が10000円以下になるようにしたい。品物は最大で何個買うことができるか求めなさい。ただし、消費税については考えないものとする。

先生：まず、買った品物の数を  $x$  個として、問題文中にある下線部分の数量の関係を  $x$  を用いた不等式で表してみよう。

太郎： ① と表すことができます。

先生：そうだね。次に、この不等式を解いていこう。

花子：“不等式を解く”とは何ですか？

先生：みんなは中学1年生で“方程式を解く”ことを学習したよね。

方程式では、両辺に同じ数を足しても、引いても等号“=”は成り立った。両辺に同じ数をかけても、両辺を0でない同じ数で割っても等号“=”は成り立ったよね。

それでは、不等式ではどうだろう。“不等式を解く”ことを説明する前に、不等式の性質について確認していこうか。

不等式の両辺に同じ数を足しても、不等号の向きは変わらないよ。つまり、

$$A > B \quad \text{ならば} \quad A + C > B + C$$

という性質が成り立つということだ。

それでは、不等式の両辺から同じ数を引いたらどうなるかな？

花子： ② です。

先生：そうだね。同様に、同じ正の数をかけても、同じ正の数で割っても不等号の向きは変わらないよ。つまり、

$$C > 0 \text{ であるとき、} A > B \quad \text{ならば} \quad A \times C > B \times C$$

であるし、

$$C > 0 \text{ であるとき、} A > B \quad \text{ならば} \quad A \div C > B \div C$$

であるということ。次に同じ負の数を使った場合、どうなるか考えていくよ。

そのために、 $A > B$ の両辺から、 ③ を引いてみると、

$$A - (\text{③}) > B - (\text{③})$$

となるから、両辺を計算すると、 $-A < -B$ となるね。

太郎：あっ！結果的に、 $A > B$ の両辺に $-1$ をかけると不等号の向きが変わっているということですね。

先生：そのとおり。不等式は両辺に同じ負の数をかけると、不等号の向きが変わるという性質があるよ。つまり、

$$C < 0 \text{ であるとき、} A > B \quad \text{ならば} \quad A \times C < B \times C$$

ということだよ。また、同じ負の数で割っても不等号の向きが変わるんだ。

方程式を解くときと同じように、これらの性質を利用して  $x$  が満たす範囲を求めることを、“不等式を解く”というんだよ。

花子：わかりました。さっそく、問題の不等式を解いてみます。

(1) 空欄①にあてはまる適当な不等式を答えなさい。

(2) 空欄②にあてはまるものを次の (あ)~(え) の中から選び記号で答えなさい。

(あ)  $A > B$  ならば  $A - C < B - C$

(い)  $A > B$  ならば  $A - C \leq B - C$

(う)  $A > B$  ならば  $A - C > B - C$

(え)  $A > B$  ならば  $A - C = B - C$

(3) 空欄③にあてはまる適当な式を答えなさい。

(4) ①の不等式を解いて、品物が最大何個買えるか求めなさい。

4.

---

下図のように、0から順に番号が書かれたマスがある。スタート地点を0のマスとしてコマを置く。

0	1	2	3	4	5	6	7	...	
---	---	---	---	---	---	---	---	-----	--

以下の各問に答えなさい。

(1) さいころをふって出た目の数だけコマを右側に動かすものとする。コマが最後に5のマスに止まった場合を成功とするゲームを行う。

ただし、5のマスより右側に来るような場合はその時点でゲーム失敗とする。

さいころを最大3回までふるることができるとした場合、ゲームが成功するさいころの目の出方は何通りあるか答えなさい。

(2) 次に、さいころをふって偶数の目が出たときはコマを右側に出た目の数だけ動かし、奇数の目が出たときはコマを左側に出た目の数だけ動かすものとする。コマが最後に5のマスに止まった場合を成功とするゲームを行う。

ただし、スタート地点の0のマスより左側に来るような場合はその時点でゲーム失敗とする。さいころを最大3回までふるることができるとした場合、ゲームが成功するさいころの目の出方は何通りあるか答えなさい。



# 高校入試過去問( 愛知 ) (R3)年数学

(100点満点(45)分)

1.

(1)  $\frac{7}{3^2} - \left(-\frac{1}{2}\right) \div \left(1 - \frac{5}{2}\right)^2$  を計算しなさい。

$$= \frac{7}{9} - \left(-\frac{1}{2}\right) \times \frac{4}{9} = \frac{7}{9} + \frac{2}{9} = \underline{\underline{1}} \#$$

(2)  $(\sqrt{6} + \sqrt{2})\left(\frac{1}{\sqrt{6}} - \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$  を計算しなさい。

$$= \frac{\sqrt{6}}{\sqrt{6}} - \frac{\sqrt{6}}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6}} - \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{2}}$$
$$= 1 - \sqrt{3} + \frac{\sqrt{3}}{3} - 1 = \underline{\underline{-\frac{2}{3}\sqrt{3}}} \#$$

(3) 1から9までの自然数のうち異なる2つを選び、小さい方を  $a$ 、大きい方を  $b$  とする。このとき、 $\frac{1}{a} - \frac{1}{b}$  の値が最も小さくなる時の値を求めなさい。

$$\frac{1}{a} - \frac{1}{b} = \frac{b-a}{ab}$$

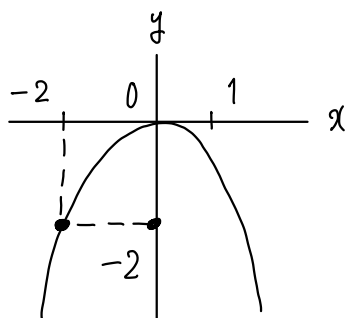
最も小さくなるためには、分母の  $ab$  が最大になればよいので

$a$  と  $b$  は  $8$  と  $9$  となる。また、 $b-a$  が最小  $1$  なので

$a=8$ 、 $b=9$  が  $\frac{1}{a} - \frac{1}{b}$  の値が最も小さくなる。

$$\frac{1}{8} - \frac{1}{9} = \underline{\underline{\frac{1}{72}}} \#$$

- (4) 関数  $y=ax^2$  で、 $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 1$  のとき、 $y$  の変域は  $-2 \leq y \leq 0$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。



問題文より左図のようにかける。

$$y = ax^2 \text{ は } (-2, -2) \text{ を通るので } \text{代入し、}$$

$$-2 = a \times (-2)^2 \rightarrow \underline{a = -\frac{1}{2}} //$$

- (5)  $m+n=90$ ,  $mn=2021$  を満たす自然数  $m, n$  ( $m < n$ ) を求めなさい。

$$m = 90 - n \text{ を } mn = 2021 \text{ に代入し、}$$

$$(90 - n) \times n = 2021$$

$$n^2 - 90n + 2021 = 0$$

$$(n - 43)(n - 47) = 0$$

$$n = 43, 47 \text{ の中}$$

$$m = 47, 43$$

$$m < n \text{ より } \underline{(m, n) = (43, 47)} //$$

- (6) 5 の数字が入った自然数を次のように小さいものから順に並べていく。

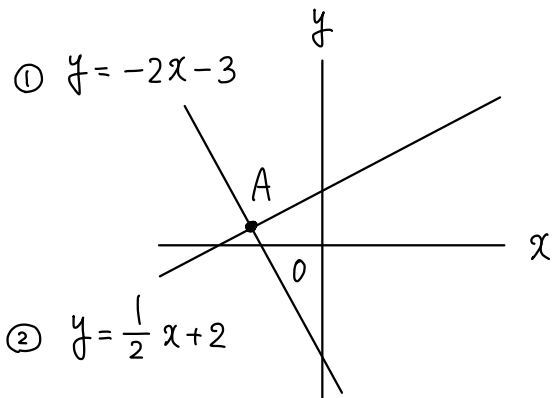
5, 15, 25, 35, 45, 50, 51, 52, ...

このとき、555 は最初から数えて何番目の数字となるか答えなさい。

5 が入っていない 1桁の数 ... 5, 15, 25, 35, 45 の 5コ }  
 2桁 " ... 50, 51, 52, ..., 58, 59 } 19コ  
                   65, 75, 85, 95 の 14コ }  
 3桁 " ... 105, 115 のように ↑ と同じ < 19コ  
                   が百の位 1~4 にもあるので  
 $19 \times 4 = 76$ コ  
 百の位が 5 のとき 501~555 は  
 56コ あり。

$$\text{以上より } 19 + 19 \times 4 + 56 = \underline{151} \text{ 番目} //$$

(7) 3直線  $y = -2x - 3$ ,  $y = \frac{1}{2}x + 2$ ,  $y = ax$  が三角形を作らないような定数  $a$  の値をすべて求めなさい。



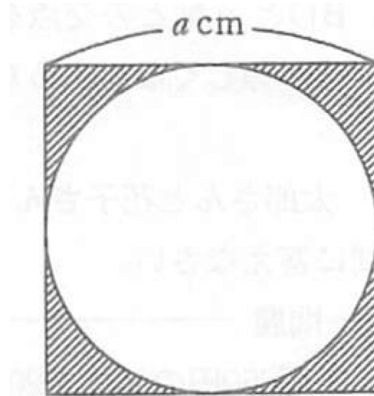
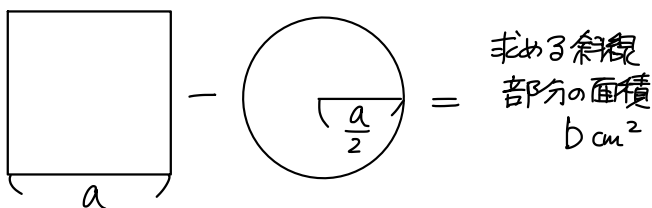
三角形を作らないためには、  
3直線のうち 2直線 が平行である  
ときと、点 A を  $y = ax$  が通るとき。

平行になるのは、① // ③ より  $a = -2$   
② // ③ より  $a = \frac{1}{2}$

① と ② の交点 は  $\begin{cases} y = -2x - 3 \\ y = \frac{1}{2}x + 2 \end{cases}$  より  $(x, y) = (-2, 1)$   $a = -\frac{1}{2}$

以上より  $a = -2, \frac{1}{2}, -\frac{1}{2}$  //

(8) 右図のように、円が1辺の長さが  $a$  cmの正方形の4辺と接している。斜線部分の面積が  $b$  cm<sup>2</sup>であるとき、この正方形の面積を  $b$  を用いて表しなさい。



$$a^2 - \pi \times \left(\frac{a}{2}\right)^2 = b$$

$$a^2 - \frac{a^2}{4}\pi = b$$

$$a^2 \left(1 - \frac{\pi}{4}\right) = b$$

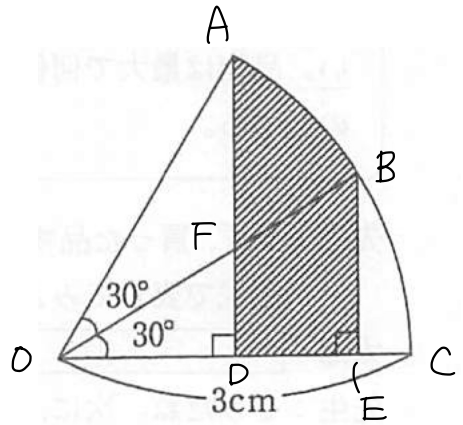
$$a^2 \left(\frac{4 - \pi}{4}\right) = b$$

$$a^2 = b \times \frac{4}{4 - \pi}$$

$$a^2 = \frac{4b}{4 - \pi}$$

//

(9) 右図のようなおうぎ形がある。斜線部分の面積を求めなさい。



$\triangle OAD \equiv \triangle BOE$  で

$\triangle OFD$  は 2つの三角形に共通している

$\triangle OAF$  と 四角形  $FDEB$  の面積は等しくなる。

よって

斜線部分 = おうぎ形  $OAB$

$$= 3 \times 3 \times \pi \times \frac{30}{360} = \frac{3}{4} \pi \text{ (cm}^2\text{)} //$$

(10) 下図のように、A~Jの10人が10点満点のゲームを行い、点数表を作ったが汚れてしまい、G、Hの点数がわからなくなってしまった。点数は自然数であり、Hの点数がGの点数より低いことはわかっている。このとき、点数の中央値を求めなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	平均値	範囲
点数	9	5	9	6	3	9			4	2	6.0	8

GとHの点数をそれぞれ  $x, y$  とする。 ( $x > y$ )

① 平均値 = 6.0 より

$$(9 + 5 + 9 + 6 + 3 + 9 + x + y + 4 + 2) \div 10 = 6.0$$

$$x + y = 13$$

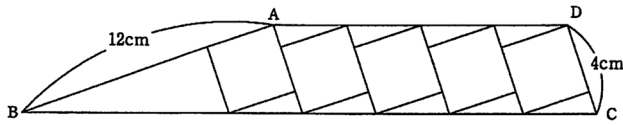
② 範囲 = 8 より 最大値 - 最小値 = 8

$x$  が 9以下だと 範囲 8 を  $x + y = 13$  を満たさない。

$x = 10, y = 3$  となる。点数を小さい順に並べると、

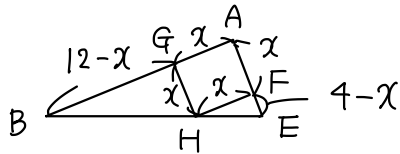
$$2, 3, 3, 4, 5, 6, 9, 9, 9, 10 \text{ での中央値は } \frac{5+6}{2} = 5.5 //$$

00) 下図のように、同じ大きさの正方形を5個並べ、両端の正方形の一辺を延長した直線と各正方形の頂点を通る直線を結んで台形ABCDを作ったところ、辺ABの長さが12cm、辺CDの長さが4cmとなった。



このとき、正方形の面積が  $\boxed{\text{①}}$   $\text{cm}^2$  であるから、この台形ABCDの面積は正方形1個の面積の  $\boxed{\text{②}}$  倍である。空欄①と②にあてはまる数値を答えなさい。

① 正方形の1辺の長さを  $x \text{ cm}$  とする。



$\triangle GBH \sim \triangle FHE$  より

$$12-x : x = x : 4-x$$

$$x^2 = (12-x)(4-x)$$

$$x^2 = 48 - 12x - 4x + x^2$$

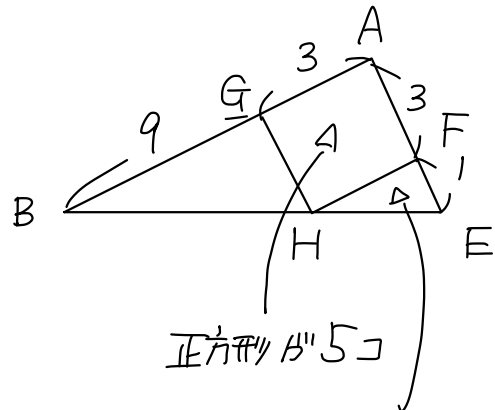
$$x = 3$$

$\therefore$  正方形の面積は  $\underline{9 \text{ cm}^2}$  //

②  $\triangle GBH = GH \times BG \times \frac{1}{2}$   
 $= 3 \times 9 \times \frac{1}{2} = \frac{27}{2}$

$\triangle FHE = FE \times HF \times \frac{1}{2}$   
 $= 1 \times 3 \times \frac{1}{2} = \frac{3}{2}$

台形 ABCD =  $\triangle GBH$   
 $+ \text{正方形} \times 5$   
 $+ \triangle FHE \times 9$   
 $= \frac{27}{2} + 9 \times 5 + \frac{3}{2} \times 9$   
 $= \frac{27}{2} + \frac{90}{2} + \frac{27}{2}$   
 $= \frac{144}{2} = 72 \text{ cm}^2$



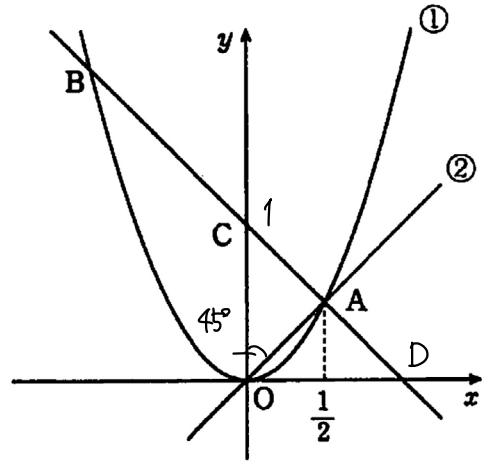
正方形が5個

$\triangle FHE$  と合同の  
 $\square$  が9個

正方形の面積  $9 \text{ cm}^2$  の 8倍 //

2.

右図のように、放物線  $y = ax^2 \dots ①$  と直線  $y = bx \dots ②$  が原点  $O$  と点  $A$  で交っており、点  $A$  の  $x$  座標は  $\frac{1}{2}$  である。放物線  $①$  上に点  $A$  以外の点  $B$  をとり、直線  $AB$  と  $y$  軸との交点を  $C$  とする。点  $C$  の  $y$  座標が  $1$ 、 $\angle AOC = 45^\circ$  であるとき、次の各問に答えなさい。



- (1)  $a$ ,  $b$  の値をそれぞれ求めなさい。
- (2) 点  $B$  の座標を求めなさい。
- (3) 線分  $OA$  上に  $2$  点  $O$ ,  $A$  とは異なる点  $D$  をとり、直線  $BD$  と  $y$  軸との交点を  $E$  とする。 $\triangle BCE$  と  $\triangle ODE$  の面積が等しくなるような点  $D$  の座標を求めなさい。

(1)  $\angle AOC = 45^\circ$  より  $\angle AOD = 45^\circ$  で  
 ② の傾きは  $1$  となるので  $y = x$   
 $\therefore A(\frac{1}{2}, \frac{1}{2})$

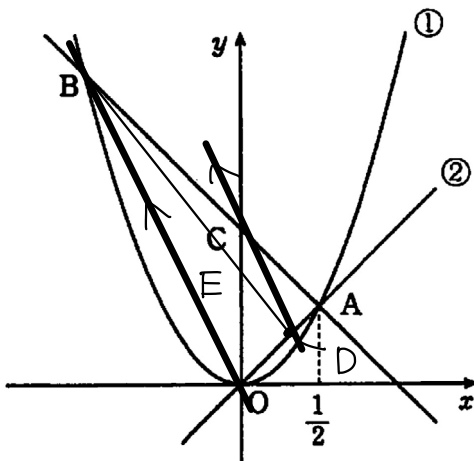
$y = ax^2$  に代入して  $\frac{1}{2} = \frac{1}{4}a$   $a = 2$       以上より  $a = 2, b = 1$  //

(2)  $A$  と  $C$  の座標より  $AC$  は  $y = -x + 1$   
 $B$  は  $y = 2x^2$  と  $y = -x + 1$  の交点

$$\begin{cases} y = 2x^2 & 2x^2 = -x + 1 \\ y = -x + 1 & 2x^2 + x - 1 = 0 \end{cases} \quad x = \frac{1}{2}, -1$$

$B(-1, 2)$  //

(3)



$\triangle BCE = \triangle ODE$   
 等積変形の考えを用いると、  
 $\triangle BCE + \triangle BCO = \triangle ODE + \triangle BCO$

$\therefore BO \parallel CD$  となり

$CD: y = -2x + 1$

$y = x$  と  $y = -2x + 1$  の交点  $D$  の座標を求める。

$x = -2x + 1$

より  $x = \frac{1}{3}$        $D(\frac{1}{3}, \frac{1}{3})$  //

太郎さんと花子さんは、下の問題について先生と会話をしています。下の会話文を読み、後の各問に答えなさい。

問題

1個650円の品物を2000円の箱に入れて買うとき、合計の代金が10000円以下になるようにしたい。品物は最大で何個買うことができるか求めなさい。ただし、消費税については考えないものとする。

先生：まず、買った品物の数を  $x$  個として、問題文中にある下線部分の数量の関係を  $x$  を用いた不等式で表してみよう。

太郎： ① と表すことができます。

先生：そうだね。次に、この不等式を解いていこう。

花子：“不等式を解く”とは何ですか？

先生：みんなは中学1年生で“方程式を解く”ことを学習したよね。

方程式では、両辺に同じ数を足しても、引いても等号“=”は成り立った。両辺に同じ数をかけても、両辺を0でない同じ数で割っても等号“=”は成り立ったよね。

それでは、不等式ではどうだろう。“不等式を解く”ことを説明する前に、不等式の性質について確認していこうか。

不等式の両辺に同じ数を足しても、不等号の向きは変わらないよ。つまり、

$$A > B \quad \text{ならば} \quad A + C > B + C$$

という性質が成り立つということだ。

それでは、不等式の両辺から同じ数を引いたらどうなるかな？

花子： ② です。

先生：そうだね。同様に、同じ正の数をかけても、同じ正の数で割っても不等号の向きは変わらないよ。つまり、

$$C > 0 \text{ であるとき, } A > B \quad \text{ならば} \quad A \times C > B \times C$$

であるし、

$$C > 0 \text{ であるとき, } A > B \quad \text{ならば} \quad A \div C > B \div C$$

であるということ。次に同じ負の数を使った場合、どうなるか考えていくよ。

そのために、 $A > B$ の両辺から、 ③ を引いてみると、

$$A - (\text{③}) > B - (\text{③})$$

となるから、両辺を計算すると、 $-A < -B$ となるね。

太郎：あっ！結果的に、 $A > B$ の両辺に $-1$ をかけると不等号の向きが変わっているということですね。

先生：そのとおり。不等式は両辺に同じ負の数をかけると、不等号の向きが変わるという性質があるよ。つまり、

$$C < 0 \text{ であるとき, } A > B \quad \text{ならば} \quad A \times C < B \times C$$

ということだよ。また、同じ負の数で割っても不等号の向きが変わるんだ。

方程式を解くときと同じように、これらの性質を利用して  $x$  が満たす範囲を求めることを、“不等式を解く”というんだよ。

花子：わかりました。さっそく、問題の不等式を解いてみます。

(1) 空欄①にあてはまる適当な不等式を答えなさい。

(2) 空欄②にあてはまるものを次の (a)~(d) の中から選び記号で答えなさい。

(a)  $A > B$  ならば  $A - C < B - C$

(b)  $A > B$  ならば  $A - C \leq B - C$

(c)  $A > B$  ならば  $A - C > B - C$

(d)  $A > B$  ならば  $A - C = B - C$

(3) 空欄③にあてはまる適当な式を答えなさい。

(4) ①の不等式を解いて、品物が最大何個買えるか求めなさい。

$$\textcircled{1} \quad 650x + 2000 \leq 10000$$

$$\textcircled{2} \quad A > B \quad \text{に対し}$$

両辺に  $(-C)$  を加えると

$$A + (-C) > B + (-C)$$

$$A - C > B - C$$

$$\therefore \textcircled{c}$$

$$\textcircled{3} \quad A - (A + B) > B - (A + B)$$

$$-B > -A$$

$$\textcircled{3} \quad A + B$$

$$(4) \quad 650x + 2000 \leq 10000$$

両辺から 2000 を引いて

$$650x \leq 8000$$

両辺を 650 で割ると、

$$x \leq \frac{8000}{650} = \frac{160}{13} \approx 12.3$$

$\therefore$  最大 12 個買える

下図のように、0から順に番号が書かれたマスがある。スタート地点を0のマスとしてコマを置く。

0	1	2	3	4	5	6	7	...	
---	---	---	---	---	---	---	---	-----	--

以下の各問に答えなさい。

(1) さいころをふって出た目の数だけコマを右側に動かすものとする。コマが最後に5のマスに止まった場合を成功とするゲームを行う。

ただし、5のマスより右側に来るような場合はその時点でゲーム失敗とする。

さいころを最大3回までふるることができるとした場合、ゲームが成功するさいころの目の出方は何通りあるか答えなさい。

(2) 次に、さいころをふって偶数の目が出たときはコマを右側に出た目の数だけ動かし、奇数の目が出たときはコマを左側に出た目の数だけ動かすものとする。コマが最後に5のマスに止まった場合を成功とするゲームを行う。

ただし、スタート地点の0のマスより左側に来るような場合はその時点でゲーム失敗とする。さいころを最大3回までふるることができるとした場合、ゲームが成功するさいころの目の出方は何通りあるか答えなさい。

(1) さいころの出目を考える。

① 1回で成功する場合 ... 出目は 5

② 2回 // ... (1, 4) (2, 3) (3, 2) (4, 1)

③ 3回 // ... (1, 1, 3) (1, 2, 2) (1, 3, 1)  
(2, 1, 2) (2, 2, 1)  
(3, 1, 1) 以上 11通り //

(2) ① 1回 ... なし

② 2回 ... (6, 1) の 1通り

③ 3回 ... (1, 2, 4) (2, 3, 6) (3, 4, 4) (4, 5, 6)

1回目に奇数はX, 2回目では失敗はXを考えると、

(1, 2, 4) は (1, 2, 4) (2, 1, 4) (2, 4, 1) (1, 4, 2) で 4通り

(2, 3, 6) は (2, 6, 3) (6, 2, 3) (6, 3, 2) の 3通り

(3, 4, 4) は (4, 3, 4) (4, 4, 3) の 2通り

(4, 5, 6) は (6, 4, 5) (6, 5, 4) (4, 6, 5) の 3通り

以上 13通り //